

平成30年度春協議
財政上の支援措置の改善提案に対する協議の結果

整理番号	240	特区名	群馬がん治療技術地域活性化総合特区		
提案事項の種別	新規 / 拡充				
事業名	高精度重粒子線がん治療技術の開発				
事業内容	重イオンマイクロサージェリー技術による小さな疾患の治療と、その治療実施に向けた正確な重イオンビームの照射対象部位の位置の確認や、照射後の精度確認等の安全性と品質確認を含めた技術の総合的开发を行う。				
提案事項の具体的内容	<p>H25年度から進めている重イオンマイクロサージェリーの制御技術の開発を基に新規技術を確立する。新規技術ではビームの広がり(ペナンプラ)を十分に抑える重イオンの特徴を最大限に活用し、ガンマナイフやサイバーナイフでは困難な症例の治療を可能にする。治療における安全性と品質の面から微小な病巣への重イオンビームの位置決め技術が極めて重要であり、それを可能とするため、精細フラットパネルディテクター(FPD)により患者のX線画像を撮影し、病巣位置に対する相対位置が明確な複数の照準点を用いて高精度の位置決めを行う。この照準点の位置を連続的に監視し、照準から外れた場合、照射できない、若しくは、照射中断する等の機能を働かせることにより、照射の正確性と安全性を担保する。また、重イオンはPET技術を用いて照射位置の可視化が可能となるため、CT撮影により治療計画時の位置との一致を確認することで、照射精度を確認する。これら技術を確立することで、これまで治療が困難であった微小な疾患についても放射線治療が可能になる。このように大学等の持つ資源や基礎研究等で生まれた研究成果を効率的に活用し、産学官による共同研究開発を通じて事業化の加速化を図るための研究開発機能を有する施設・設備整備を支援する補助事業の創設を要する。</p>				
1 国と地方の協議	担当省庁の対応	C:対応しない		担当省庁名	文部科学省
	担当課名	文部科学省・研究振興局研究振興戦略官付			
	国の予算	(拡充提案、代替制度の提示の際に使用)			
	国の予算	日本医療研究開発機構研究費			
	担当省庁の見解	(理由・根拠となるデータ・法令解釈・条件/代替案の内容とその妥当性・論点などを記述)			
	担当省庁の見解	<p>文部科学省では、がん研究について、日本医療研究開発機構(AMED)で実施する「次世代がん医療創成研究事業」において、がんの生物学的な本体解明に迫る研究等の基礎的研究を支援しているところ。</p> <p>本事業の他にも、AMEDでは他省庁事業も含め、放射線治療等に関する新規治療技術の開発に係る研究、医療機器開発、産学官連携研究などの医療分野の研究開発の助成等を行っているため、これらの活用について幅広くご検討いただきたい。</p> <p>また、量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所では、1994年から重粒子線がん治療の臨床研究や次世代治療システムの開発を進めており、研究及び治療実績を有していることから、本研究所を含む、量子科学技術研究開発機構全体との連携・協力についても積極的にご検討いただきたい。</p>			
	実施時期	スケジュール			
	指定自治体の回答	b:条件付き了解			
	再度書面協議の希望	再度対面協議の希望			
	理由等	条件が合えば、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の各種支援事業、及び量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所との連携等について、引き続き検討していきたい。また、「高精度重粒子線がん治療技術の開発」が活用できる支援事業の創設をお願いしたい。			
内閣府整理	V:自治体が再検討を行うもの、または 提案の取り下げを行うもの				
コメント	<p>文部科学省から、日本医療研究開発機構(AMED)による支援事業の検討及び量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所との連携・協力が提案され、指定自治体がそれらについて検討することとなったため、協議を終了する。</p> <p>今後、指定自治体において十分に提案を検討いただき、それでも要望実現が困難である場合は、文部科学省と改めて協議を行うこととする。</p>				